第11章　計画の推進

Chapter11

1. 市民・事業者の役割

市民・NPO

2050年ネット・ゼロに向けて、市民一人ひとりが、これまで培われてきた高い市民環境力をもとに、環境への負荷が少ない「環境配慮型ライフスタイル」への転換を進めていくことが必要です。

事業者

省エネや省資源などの取組状況を積極的に情報発信・PRすることで、脱炭素経営による企業の競争力向上を図るとともに、気候変動影響に対し、継続的・安定的に事業活動を実施していくことが必要です。

市民に期待される取組例	事業者に期待される取組例
省エネの推進	省エネの推進
再エネの利用・電化	再エネ100%電力の導入
環境イベント等への参加	環境イベント等への参加
省エネ住宅の普及	省エネ建築物の普及
公共交通等の利用	脱炭素ビジネスの創出
環境配慮型行動変容	環境情報の発信

市の働きかけ

・温暖化対策の手法やインセンティブ、国補助などの周知
・環境イベントを通じた啓発・交流
・イノベーション、技術開発の支援（各種補助・助成）

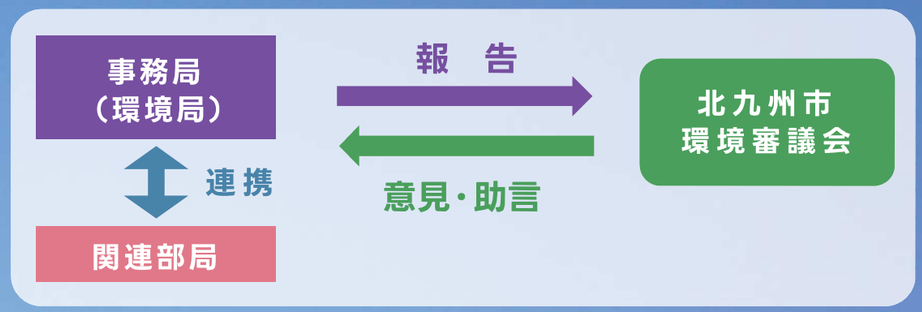
具体的な取組事例や補助金・支援制度は
「北九州市脱炭素ポータルサイト」（下記QRコード）で紹介しています。

2. 計画の進行管理及びフォローアップ体制

計画の進捗状況について、市役所内部の関連部局と連携を図りながら、毎年1回、総合的な評価・検証を行い、効果的な計画の進行管理を行います。
さらに、その結果を「北九州市環境審議会」に報告し、意見・助言を受け、施策の見直しや追加など、必要な改善を行います。
あわせて、進捗状況や取組内容について、市民へわかりやすく発信します。

評価・検証のプロセス

① 北九州市域内の温室効果ガス排出量を推計し、削減目標の達成状況を確認
② 計画に掲げる各施策の取組状況を把握
③「北九州市の施策の実施に関する目標（モニタリング指標含む）」の推移を把握



3. 計画の見直し

本計画は、今後の国の地球温暖化対策やエネルギー政策等の社会経済情勢の変化や、地球温暖化対策に係る国内外の動向を踏まえ、5年後を目途に、計画の見直しの必要性について検討を行うこととします。

